

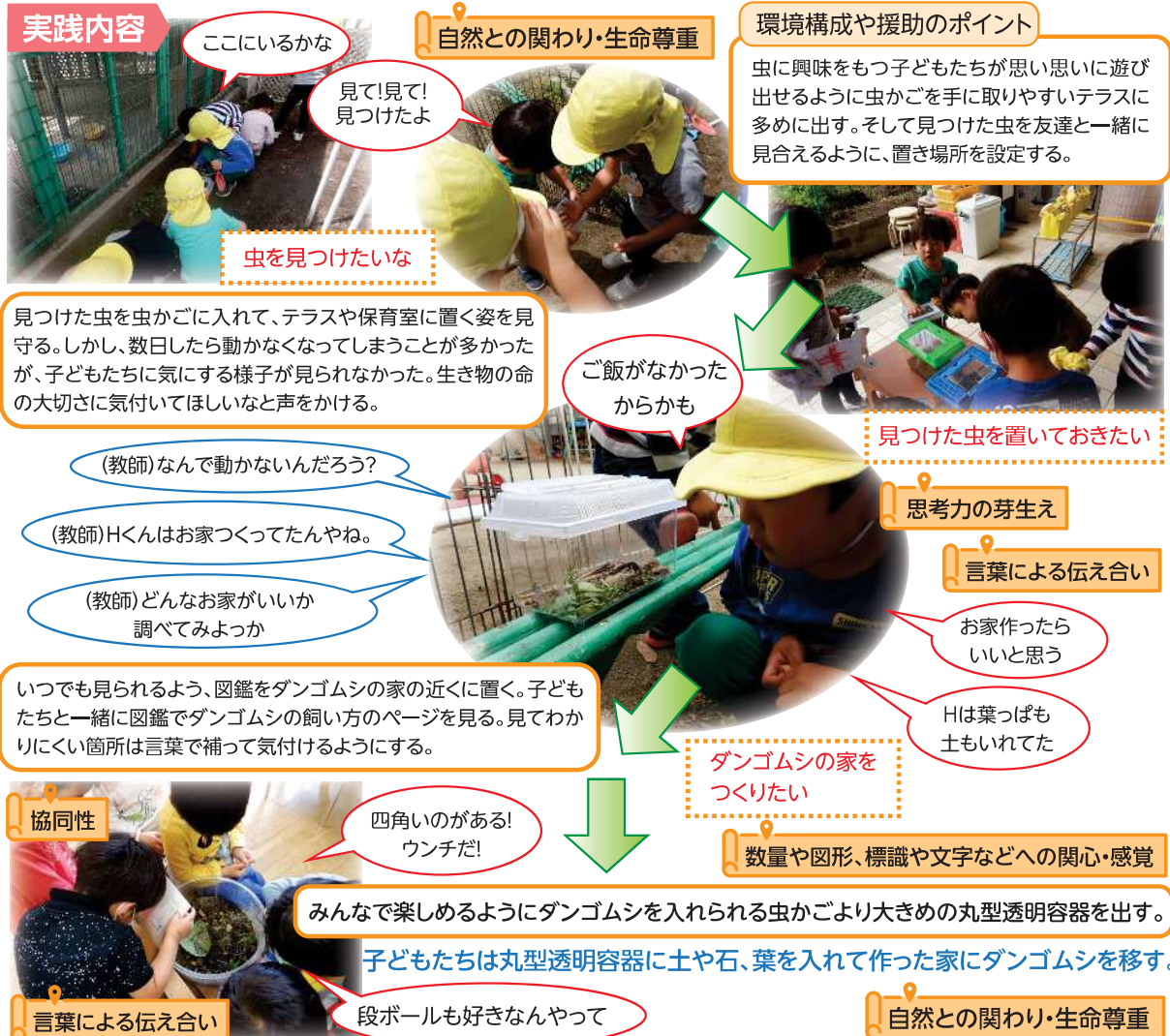
ねらい

安心して、気の合う友達と一緒に生き物と触れ合いながら、命があることに気づき、大切に飼育しようとする。

発達・教師の援助
環境構成のポイント

- ・先生や気の合う友達と関心のある遊びに主体的に取り組む4歳児の発達を捉える。
- ・生き物(ダンゴムシ)と出会い、愛着をもって関わり、共に楽しみ、慈しむことができる環境を整える。

実践内容



保育を振り返って 1年生につながるもの:栽培・飼育で感じる命、生き物への愛着心、不思議さ、尊さ

幼保では、子どもたちが花や野菜を育てたり、様々な生き物を育てたりなど、動植物に十分にに関われる環境や時間を設定し、動植物の生態や不思議さ、生命の大切さや温かさ、畏敬の念などが育まれることを大切にしている。この事例では、十分な量の虫かごやそれを置く場所があったことで、虫が好きな子どもたちが三々五々集まってダンゴムシをたくさん見つけたい、置いておきたいという願いが達成された。しかし、動かなくなったことを命に気付く機会として、教師が図鑑で調べる手立てを提案し、子どもの思いを受け止め、仲間であらえを伝え合い、大事に飼育する姿につながった。